

## 活動報告

団体名	NPO 法人つなぎ t e おおむた
活動名	広域避難者の心のケア活動および被災障害者支援のコーディネート活動 他
活動期間	2017年4月～2018年3月
活動の成果	<p>【集いの場】広域避難者のための「丸ごと受け入れられ安心できる場」づくりを行いました。玄関はいつもオープン。お茶会や、避難者さんが講師となつてのミニ講座に活用いただきました。</p> <p>【被災地障害者センターくまもと事務局フォロー】震災直後からこれまでに寄せられた多数のSOS。現地スタッフが的確に・大切にアフターフォローを行なえるよう、この個別記録データ整理を行ないました。また、全国各地で「もしも」に備える資料として活用いただけるデータ集約にも着手。</p> <p>【物づくり支援】東日本大震災の被災地で頑張つて物づくりをしておられる団体からのアドバイスを受けながら、障害者就労施設での商品開発を行ないました。美味しい和菓子と自然素材を活用した文具。近日発売開始予定です。お楽しみに！</p> <p>【情報発信】FBやブログで、私たちが実際に現地に足を運びながらの情報発信。熊本県外からの「私にできること、ありませんか？」と、被災地の「手伝ってください」を繋ぐことができました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>私たちの「やりたい・やらねば」を「やれる！」にしてくださったのは、ポラサポ・九州に浄財をお寄せいただいた皆さまです。私たちの住む大牟田市は福岡県と熊本県の県境にあります。地震直後から「お隣さん」のためにできることを続けてきましたが、思いは大きくても、それを継続するためには資金の確保が重要でした。ボランティア本来の「行きたいとき・行けるとときに自由に参加する」活動を、しっかりと受け止め・きちんと繋ぐために、有償スタッフの存在はとても大きいと私たちは考えているからです。今回、ポラサポ・九州の助成をいただいたおかげで、熊本で、そして大牟田でさまざまな形の活動を展開できました。例えば、連日開放した大牟田の集いの場→集いの場で作ったパーツを持参して行なった西原村でのイベント→イベント参加者に引き継がれたパーツ作り→地元の方の手作りパーツによるイベント開催・・・と、笑顔の輪は私たちの想像を超えて広がり続けています。これは、助成金によって雇用できた有償スタッフが常に熊本と大牟田を行き来することで、被災地と信頼関係を作れたこと。そしてそこから、本当に必要とされる支援の形を導き出せたこと。被災地の情報や私たちの考えを常に発信することで、賛同する仲間を多く集められたこと。これらの結果だと思えます。専門家集団でもない小さな団体の私たちにできることは限られていますが、それでもそれは絶対にゼロよりも大きい。これを座右の銘とし、ブルーシートだらけだった街中に響く復旧の槌音を背に動き続けた1年でした。まだまだやりたいこと・やらねばと思うことは山ほどあります。助成期間で蓄えた力を基に、次の1年は私たちなりの新しい活動の形をとります。</p> <p>ご支援、本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

